

ティーンズの今

私達は考え、行動しなければならない。
そのチャンスがあるのだから。

Free The Children Japan 子どもアンバサダー 松田佳乃子

私は今高校二年生です。あと一年で楽しい高校生活も終わりを迎えてしまいます。これまで様々な国の人に出会いました。色々な話を聞いて改めて自分について考えるようになりました。私は最近、自分がどうしたら誰かの為に役に立てるのか、どうしたらこれから生まれてくる人たちにとっていい世界になるのかについて考える事があります。一年前までは自分の夢とは何か、自分が何になりたいのかわかりませんでした。でも本当は夢がわからないのではなく、自分が辛い現実から逃げているだけだと気付きました。辛いことやめんどくさい事から逃げればかりの自分。自分の夢を追いかけるためには沢山の努力や自分が成し遂げなければならない事があって自分にはできないと諦めていました。だからそれに気付いた時、今度は逃げずに向き合おうと決めました。今夢を叶える為に必死に頑張らないときっと将来後悔すると思いました。この一年、私は成績のためでも大学の進学のためでもなく自分がやりたいと思ったことに（英語の大会や国際交流イベントなど）取り組んできました。私は学校の勉強も好きです。学校で行われるイベントや大会に全力で参加する事も楽しくて、私にとっては勉強と同じくらい大切に楽しい事です。それでも学びたいことがまだまだ沢山あります。私は「今できることを全力でする事、が大切な事だ」と思います。なぜなら、それはいつか自分の力になり、必ず役に立つと信じているからです。それは、私が将来、今学んでいる事とはかけ離れた仕事に就いた時にも何らかの形で役立つと思います。自分からチャ

ンスを掴み挑戦することが私にとって最高に人生が楽しいと思える瞬間です。

そんな中、早く大人になりたいという思いとまだ子どもでいたいという思いがぶつかっています。大人になれば今よりも出来ることが増える代わりに責任というものがついて回ります。だから私は子どものままでお金や責任などを気にせずに自由に生きたいとも思うのです。大人になるにつれて選択を迫られることが増えてきました。その一つの例として選挙があります。もうすぐ私は選挙権を持つようになります。投票しに行く事は日本に住む私達の未来を決めることにつながります。ですが日本人の投票率は半分を切っています。私はなぜみんなは自分の考えを目に見える形で表現しないのだろう、と疑問に思うのです。私はみんなが違う考えを持っているからこそ自分の意見を主張することが大切だと思っています。大人になる瞬間があまりにも唐突すぎるように感じます。でも私達は社会に出て行く人間として今自分の国がどんな状況に置かれているのか、世界で何が起きているべきか知るべきだと思うのです。

もしみんな同じなら戦争も起こることはありませんし、統治も必要ありません。ですが、みんな一人一人個性があってその人の分だけ考えがあります。私はその多様性を否定せず受け入れなければならないと思います。いじめだってそうです。私達は他人が自分と違うことを恐れず認めるべきなのです。人によって裕福さや見た目は違うけれどそれを理由に人を差別したりしてはなりません。みんなが同じ考えを持つよ

2019年秋に参加した国際イベント



うにならなくとも、それぞれを受け入れることで世界は平和になっていくと思います。

今日、世界中で様々な問題が起こっています。それらは直接的に私達の生活に影響を及ぼすことはないかも知れないですが、どこかの誰かが苦しんでいるのです。例えばBlack Lives Matterというワードを耳にしたことがあると思います。日本に住んでいる人の多くは黄褐色の肌をもっているため肌の黒い人は少し珍しいと感じるかも知れません。だからといって無関係というわけではないのです。もっと多くの人がこの問題に関心を持って考えることが問題解決の大きな助けとなるのです。その為には自分から人に問題を伝えていくことや自分から学ぶこと、そして小さなことでもアクションを起こす事が大切だと思います。私も初めは難しいと思っていたけれど世界にいる同じ年頃の子たちが自分の国の政治や世界の問題について深く考えている所を見て私でも小さなことから始めていけばいいのだと気がきました。みんなが色々な事に興味を持って意識を高めていけばいいなと思います。

私が11年間の学生生活を経て学んだ事がこのようなことを考える力を与えてくれました。最近では、フィリピン研修に参加し、一日働いて私たちが一食食べるのに使うお金しか稼げずまともな環境で生活できず、ゴミに囲まれたところで生活している人がいることを聞き驚きました。このような事は日本にいたらわからなかったし、知ろうとしなかったら知らなかったことでした。今はそれらを知ったことで色々な事

に対する興味が沸くようになり、より勉強したり福祉活動に参加するようになりました。だからこれから高校生になる人にはどんどん色々な事にチャレンジして行って欲しいですし、私と同じでこれから社会の一員になって行く人たちにももっと色々な事に興味を持って自信を持って欲

しいです。世界の大きな問題を解決するためには身近な事から始めて行く事から始まると思います。これは私達の意識を変えることで解決できる問題です。私はこれからもっと色々な経験を通して自分をグレードアップさせ、もっと具体的に何をしたいかを見つけていきたいです。一度しかない学生生活で学べるものは授業の中だけではありません。ではそのような機会をより多くの学生が手にするためにどうしたら良いと思いますか？

FTCJについて

1995年に、当時12歳のカナダ人の少年によって貧困から子どもを解放する



ことを目的に設立されたFree The Children (現WE)のパートナー団体として1999年から活動を開始。国際協力活動と並行し、日本の若者が社会問題に取り組むチェンジメーカーになれるよう、エンパワーしている。



当団体HPのQRコード

筆者プロフィール

2003年、大阪で日本人の母と韓国人の父の間に生まれる。小学生の頃、自分の国籍の違いから世界について興味を持つようになる。高校での海外生との交流を通じ自分の中で完結させるのではなく、より多くの人に日本の問題を伝えたり考えを広めたりする事が大切だと気づき、数々の国際イベントの主催に携わる。現在は国際協力団体のNPO法人Free The Children Japanの子どもアンバサダーを務める。